

平成 28 年 6 月 9 日

関係者各位

会 社 名 株 式 会 社 S H I F T  
代 表 者 名 代表取締役社長 丹 下 大  
(コード番号：3697 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 執行役員 CFO 益 子 和 也  
( TEL. 03-6809-1165)

**「ヒンシツ大学」新講座開設のお知らせ**

～国際基準のテストプロセス改善手法「TPI NEXT®」に関する講座の提供を開始～

株式会社 SHIFT（本社：東京都港区、代表取締役社長：丹下 大、東証マザーズ：コード番号 3697、以下 SHIFT）は、この度、ソフトウェア品質に関するノウハウを提供する教育サービス「ヒンシツ大学」において、6 月 29 日（水）より、国際基準のテストプロセス改善手法「TPI NEXT®（※1）」に関する講座を日本で初めて開設します。講師には、ソフトウェアテスト業界における第一人者であり、また、『TPI NEXT®』の翻訳も手掛けた藪田和夫氏をお迎えします。

今や社会インフラのひとつでもあるソフトウェアの品質に対する関心は日増しに高まっています。複雑で統合されたシステムをユーザーが満足する品質で提供するために、テストへの関心が高まっている一方で、情報システムやクリティカルなビジネスプロセスを保証するテストプロセスの構築に多くのエンジニアが頭を悩ませています。このような状況を受け SHIFT は、業界関係者の支援をもとに、国際基準のテストプロセス改善手法「TPI NEXT®」に関する講座をヒンシツ大学にて新たに開設することにいたしました。このことにより、テストプロセスの構築に悩むエンジニアの方はもとより、「TPI NEXT®」に興味のある方や資格取得を目指すエンジニアの方は、講師から直接本手法を学ぶことが可能になります。

※1: TPI NEXT®：世界中のテスト現場で数多く適用されているテストプロセス改善手法である TPI を、さらに現状に合わせて改定した BDTPI（ビジネス主導プロセス改善）というテストプロセス改善に関する最新手法。「効果的なテストを実施し高品質なソフトウェアをタイムリーにリリースしたい」と望むアジャイル開発者およびエンジニアにも利用可能。「TPI NEXT®」を採用すると、テストのコストが抑えられるほか、かかる時間が短くなり、テストプロセスの品質は高くなるとされる。

**■新講座概要**

コース名 : 『管理者のためのテストプロセス改善』

アジェンダ : ソフトウェアテスト技術の標準化動向と「TPI NEXT®」の位置づけ／テストプロセス評価の解説と自己評価演習、発表／評価に基づくテストプロセス改善の自己計画の解説と作成演習、発表など

受講料 : 50,000 円（税別）

講師 : 藪田和夫氏

■講師紹介 : 藪田和夫氏

1976年富士通入社。以来SEの共通技術部門において企業システムのシステム生産技術に一貫して従事。作業標準、技法、ツール研究、製品開発から適用推進に至るまで幅広く活動。またISOやJISなどの標準化も積極的に参画。現在は、ISO/IEC JTC1/SC7 WG4（ツールと環境）、同WG26（ソフトウェアテスト）の国内委員会の主査および委員を務め、複数規格の国際エディタも務める。南山大学理工学部ソフトウェア工学科の客員教授。

■ヒンシツ大学

SHIFTが提供するソフトウェア品質保証に携わるすべてのテストエンジニアを対象としたスキルアップ講座。

ソフトウェアテスト業界著名人の監修テキストと、豊富な実績を持つ弊社講師陣により、入門、実践、応用から管理、テスト戦略まで、バリエーションに富んだ講座を提供。

QA担当者向け教育はもちろんのこと、ソフトウェア開発者向け教育、新入社員への新人教育から品質管理部門のマネージャー、管理者への教育、啓蒙活動まで対応。

日本語での講義のほか、英語、中国語での講義、プライベート講義も提供。

【当リリースに関するお問い合わせ】

株式会社SHIFT IR室 : [ir\\_info@shiftinc.jp](mailto:ir_info@shiftinc.jp)